

核の時代の平和の構想

—ヒロシマで語る平和と人間の安全保障—

食と農と地域のつながり

—中国地方、中山間地域の課題—

基礎経済科学研究所（略称「基礎研」）は、日本学術会議に登録された学術研究団体（学会）です。「勤労者とともに勤労者のための経済学を創造しよう」というスローガンをかけ、1968年に設立されました。設立以来56年来、「働きつつ学ぶ権利」を必須の人権として確立し、勤労者のなかから研究者の目をもった人材を育てるために、勤労者の参画する調査研究活動を推進してきました。

この度、広島で秋季研究大会を開催します。新たな世界大戦と核戦争に向かう動きを止めるにはどうしたらよいか、食と農をめぐる中国地方・中山間地域の課題にどう向き合うべきか、ヒロシマをめぐる現状について第一線の講師が報告します（詳細は裏面、もしくは[当研究所ホームページ](#)をご覧ください）。会員・非会員に関わらずどなたでもご参加可能です。ご参集ください。

日時

場所

◆ 共通セッションⅠ

9月7日（土曜）
14:00～17:30

◆ 並行セッション及び 共通セッションⅡ

9月8日（日曜）
9:30～12:00
13:00～16:00

広島弁護士会館

（広島市中区上八丁堀2-73）

<会場へのアクセス>

- ◆ 山陽本線「新白島駅」から徒歩10分
- ◆ 広島市内循環バスめいびる〜び「広島城」バス停下車、徒歩4分
- ◆ 市バス30-3、72-1系統「合同庁舎前」バス停下車、徒歩8分 など

特別メッセージ：平岡元市長登壇！

<9月7日（土曜）> 14:00～14:30

平岡 敬 さん（元広島市長）

※著書に、『君たちは平和をどう守るのか』（南々社、2023年）、『時代と記憶』（影書房、2011年）『希望のヒロシマ』（岩波新書、1996年）など。



※事前申込不要 資料代：1000円（9/7と9/8の分を合冊して配布します）

※オンラインでの聴講可、両日の詳細は裏面を参照

主催：基礎経済科学研究所

<1日目スケジュール (9月7日・土)>

※12:00~13:30 (予定) は当研究所総会のため、会員以外の方は会場に入ることができません。

<共通セッションⅠ> 14:00~17:30

「核の時代の平和の構想—ヒロシマで語る平和と人間の安全保障」

<特別メッセージ> (14:00~14:30)

平岡 敬 さん (元広島市長) 司会：藤岡 惇さん (所員/立命館大学・名)

<シンポジウム> (14:30~17:30)

報告1) 石川 康宏 さん (所員/神戸女学院大学・名、日本平和委員会代表理事)

「新たな世界大戦・核戦争への動きを止める—希望はどこにあるのか」

報告2) 藤岡 惇 さん (所員/立命館大学・名)

「宇宙核戦争3.0—勝利か共滅か、前線国=ウクライナと日本の運命」

報告3) 福岡 奈織 さん (イニアビ農園)

「『平和』を問う小さな農園の取り組み

—仏領ポリネシアのヒバクシャとの出会いから」

司 会：中野 克彦 さん (所員)

※報告後、フロアおよびオンラインからの質疑等

<オンラインでの参加 (Zoom)>

<https://us02web.zoom.us/j/81114822731?pwd=n27ezlmndSG9Vie5Epaf41pAS4mBJu.1>

ミーティング ID: 811 1482 2731 パスコード: 444650

<2日目スケジュール (9月8日・日)>

<並行セッション> 9:30~12:00

3つの分科会に分かれて、9本の報告と討論を予定。
プログラムは[当研究所ホームページ](#)を参照。

<共通セッションⅡ> 13:00~16:00

「食と農と地域のつながり—中国地方、中山間地域の課題」

報告1) 榎原 正澄 さん (所員/関西大学・名)

「戦後日本農政の転換と食料・農業・農村の変貌」

報告2) 原田 佳子 さん (所員/元・美作大学、「あいあいねっと」代表)

「食を起点とした地域の繋がり—フードバンクの活動を通して」

報告3) 菰田 レエ也 さん (所員/鳥取大学)

「鳥取県における買い物環境の変動と改善に関する動向」

司 会：加藤 光一 さん (所員/松山大学・元、東アジア経済アナリスト)

※報告後、フロアおよびオンラインからの質疑等

<オンラインでの参加 (Zoom)>

<https://us02web.zoom.us/j/83029292308?pwd=cAbXx1ZBKJawDTOnGuWYfPZ2naP6FL.1>

ミーティング ID: 830 2929 2308 パスコード: 403614